

こんにちは

うみ議会です



見つめようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年に町制施行100周年

Koe Meter

声メーター
実施中!



議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

もくじ

- ボランティア団体活動紹介 ②
- 宇美小学校3年生が役場見学 ③
- 一般質問 町政を問う7人が登壇 ⑥
- 常任委員会報告 ⑬



2019.8.8

No. 74
うみ議会だより
6月定例会

ボランティア団体活動紹介

どんな活動をやっているのかのぞいてみよう♪

宇美町連合婦人会

小学校のクラブ活動で昔遊びを伝授
子どもたちから元気と若さをもらっている



お手玉づくりの材料を準備して子どもたちと一緒に作ります

宇美町連合婦人会は、子どもたちと昔遊びをとおした学習支援活動に取り組まれています。

宇美小学校のクラブ活動では年に10回、学童保育のうみっこクラブでは夏休み期間中に、4か所の保育園では計8回、活動をされています。

昔遊びの種類は、お手玉、おはじき、けん玉、コマ回し、あやとり、竹とんぼ、福笑いなど多岐にわたっており、お手玉遊びでは、お手玉をつくるところから子どもたちと一緒に行っておられます。

宇美小学校でのゲストティーチャー感謝の集いでは、「僕は、3年間ずっと昔遊びクラブで活動してきました。いつも指導していただきありがとうございます。」と感謝の言葉を聞くことができました。

また、毎年子どもたちから届く年賀状にもたくさんの感謝の言葉がつづられており、涙が出るほど嬉しく、今後活動を続けていくうえでのモチベーションになっているそうです。

国際交流ボランティア団体 Enjoy エンジョイ ニュージーランド高校生ラグビーチームと国際交流

日本の中学校に通う外国人の子どもたちの学習支援活動を中心に活動されている国際交流ボランティア団体の「Enjoy」が、5月3日にサニックスワールドユースラグビー大会に参加しているニュージーランドの高校生ラグビーチームを宇美町に招いて、国際交流を行いました。

宇美八幡宮での「ハカ」の奉納に始まり、宇美南町民センターでの宇美南中学校プラスバンド部による歓迎演奏や須恵高校書道部による書道パフォーマンス、太宰府市スポーツ少年団所属のラグビーチームとのレクリエーション交流等の多彩な交流プログラムが行われました。

少年期の国際交流経験は、その子の人生を左右すると言ってよいくらいの貴重な経験となります。参加した子ども達はたくさんの宝物を手に入れたようです。

国際交流ボランティア団体
「Enjoy」の活動を詳しくお知りになりたい方
フェイスブックはこちらから



大勢の参拝客で賑わう宇美八幡宮境内での原住民のマオリ族戦いの舞「ハカ」の奉納に参拝客も大喜び



書道パフォーマンス



少年チームとのレク交流

宇美町動物愛護団体うみねこ 不幸なイヌ・ネコを一匹でも減らしたい

犬猫譲渡会を開催



たくさんの方が参加した譲渡会



里親を待つワンちゃんネコちゃんたち

宇美町動物愛護団体
「うみねこ」の活動を
詳しくお知りになりたい方
フェイスブックはこちらから



6月9日に宇美町衛生センターにおいて、宇美町動物愛護団体の「うみねこ」主催による犬猫譲渡会が開かれました。

今回はフリーマーケットの開催や、ヤギミルクで作ったアイスクリーム「うみあいす」の販売などもあり、304人の来場者がありました。保護された犬猫を迎えるという方が増えてきて、子犬3匹と子猫28匹のすべての里親が決まりました。

代表の安河内さんは、「犬や猫を飼う飼わないは別にして、譲渡会にこれだけ多くの方が来てください、現状を知っていただけたことが本当に嬉しい。不幸な犬猫を一匹でも減らすために、地域ねこ活動を含めて私たちの活動にご理解とご協力をお願いします。」と語られました。

犬猫譲渡会のお知らせ

期日 9月8日(日)・10月6日(日)
時間 13時～16時まで
場所 宇美町衛生センター
(宇美町ゆりが丘3-2-2)



宇美小学校3年生が役場見学

質問がたくさん出まれた
議会に関心をもってくれたかな

6月26日に宇美小学校の3年生が、社会科見学で宇美町役場を訪問し、役場がどんな仕事をしているのかをテーマに、議会広報の編集会議も見学して、議会や議会広報の役割などを学びました。

議場では、子どもたちからたくさんの質問が飛び交いました。「宇美町にたくさんの人が来てくれるにはどうすればいいのですか?」との問いに、「来年は宇美町が誕生して100周年を迎えます。たくさん的人に宇美町に来てもらえるようなイベントを企画していますよ。」と答えると、「100周年で宇美町はバブル崩壊みたいにならないのですか?」と鋭い質問が。「そうならないために私たち議員がお金の使い方をしっかりチェックしているんですよ。」とやり取りができました。

子どもたちも議会に対して大いに関心を持ってくれたようでした。



消費喚起促進事業費 (宇美町プレミアム付商品券発行) 幼児教育無償化事業費を審議

**6月
定例会**

**平成31年度一般会計
補正予算(第1号)**
**2億6,722万円増額し
総額 119億2,171万円**

(全員賛成で可決)

※万円未満は四捨五入

補正予算

令和元年6月定例会は、10日から14日までの5日間の会期で開かれました。町長から提出された案件は専決処分2件、工事請負契約変更案2件、条例案1件、予算案1件、すべてを原案のとおり可決しました。一般質問では7議員が11項目について質問しました。



*画像はイメージです

広報うみ2019年6月号掲載

・予防接種事業費
539万円増額
3年間の期限を設け、風しんの公的接種を受ける機会がなかつた昭和37年4月2日から同54年4月1日生まれの風しん抗体価が低い男性に予防接種を実施するための業務委託料や予防接種費など。



町内のイベントでも大人気

【主な補正】 ・消費喚起促進事業費 **2億278万円増額**

「宇美町商工会プレミアム付き地域商品券」の発行補助とは別に、本年10月に実施される見込みの消費税率引き上げによる影響を緩和するため、住民税非課税の方や子育て世帯を対象に、1冊4,000円で5,000円分（最大5冊購入可能）の「宇美町プレミアム付商品券」を販売するための事業費を計上。

・対象者への周知方法
広報うみ（2019年6月号・8月号）、ホームページ、SNS等。該当者には個別に案内を行う。

・問 答
まだ使えるものがたくさんある。利用できるものは再利用されるのか。
業者の提案をもとに決定していく。利用可能なところがあれば、再利用を考えている。

・幼児教育無償化事業費 **904万円**

本年10月から実施予定の幼児教育・保育無償化の導入に際し必要な経費（臨時職員賃金・消耗品費、通信運搬費等）を計上。

町イチ村イチ参加助成金
35万円
本年11月30日、12月1日に東京国際フォーラムで開催される「町イチ！村イチ！2019」に町商工会と連携して出店し、町のPRを行うための助成金。

・問 答
今回が出店は3回目。何店も出したい思いはあるが、出店スペースが限られている。

町イチ村イチ参加助成金 **35万円**

専決処分の承認

条例

町税条例及び町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、緊急に町税条例の一部を改正する必要が生じ、平成31年3月29日に専決処分を行った。

(全員賛成で承認)

宇美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、緊急に宇美町国民健康保険条例の一部を改正する必要が生じ、平成31年3月29日に専決処分を行った。

(全員賛成で承認)

専決処分とは

予算や条例などを首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決める。地方自治法で定めており、緊急時で議会を招集する時間がない場合には議会に認めている。処分後には議会に報告し、その承認を求めなければならない。

議決内容の一部変更

宇美町放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、放課後児童支援員認定資格研修実施主体について、条例を一部改正。

(全員賛成で承認)

平成30・31年度昭和町更新住宅2棟建設工事の工事請負契約締結の議決内容の一部を変更

公共工事設計労務単価の改定に伴い、工事請負契約の内容を一部変更。

請負契約額

変更前
6億3,130万4,280円
変更後
6億3,605万7,360円
475万3,080円増額

(全員賛成で承認)



更新住宅2棟建設工事
安全祈願祭の写真

変更前	4億581万円
変更後	4億755万9,600円 増額 174万9,600円

(全員賛成で承認)

令和元年6月定例会 表決一覧 全会一致で承認・可決した議案

議案名
専決処分の承認・・・町税条例等の一部改正 (固定資産税等の負担軽減措置、住宅ローン控除制度の拡充など)
専決処分の承認・・・宇美町国民健康保険税条例の一部改正 (課税限度額及び軽減判定所得基準額の改正)
工事請負契約締結の議決内容の一部変更・・・平成30・31年度宇美町立小中学校空調機器設置工事請負契約額を174万9,600円増額し、4億755万9,600円
工事請負契約締結の議決内容の一部変更・・・平成30・31年度昭和町更新住宅2棟建設工事請負契約額を475万3,080円増額し、6億3,605万7,360円
宇美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正・・・放課後児童支援員認定資格研修実施主体に政令指定都市を追加
平成31年度 宇美町一般会計補正予算(第1号)・・・歳入歳出 2億6,722万4,000円増額し、119億2,171万1,000円

魅力ある町づくりの対策は

答 自然や歴史文化を活用しながら賑わいと活気ある町にしたい



白水 英至 議員

問 少子高齢化が進み人口減少が止められない時代がきており、魅力的で持続可能な地域をつくっていくには、地方の知恵と力量が求められている。魅力ある町づくりを考えていかなければ人口流出にもつながると思うが、今後の町づくり計画を尋ねる。

答 将来、当町の子ども人口推移はどのようになるのか。

平成25年から29年度の過去5年間の年度末人口を比較すると、総人口で461人、年少人口では238人減少している。

答 子育て支援課長

車の事故が多発する。運転免許証を返納するべきなどの意見があるが、当町で生きていくためには車は不可欠である。高齢者が地域で孤立せず、元気に暮らせる仕組みが必要である。買い物弱者をサポートするシステムはつくれないか。

問 子どもを産むたびに出産祝い金を支給できないか。

答 課長 国、県の補助金、交付金の対象にならない。

問 未整備区間の道路や渋滞する道路を早急に解決し、町内の交通ネットワークの構築に

答 課長 介護保険メニューの一
つとして地域で支え合いを考えたい。



商工会女性部が出店

問 安全で安心な町づくりのため防災対策は不可欠である。災害に対する取り組みや対策をとるのか。

答 総務課長 各校区コミュニティの自主防災組織で行っている研修会や勉強会において

答 まちづくり課長 宇美駅については、人々が行き交い、楽しく交流する賑わいの場として、中心市街地の交通拠点として位置づけ、検討、実施していく予定である。

問 超高齢社会に突入し、高齢化問題の深刻な現状が浮き彫りになつていて。将来、町の高齢者人口推移はどうになるのか。

答 福祉課長 現在65歳以上が1万人超。総人口が37,347人。高齢化率は26.8%。4人に1人は高齢者。令和6年には3人に1人が高齢者となる。

答 建設都市計画課長 太宰府線の道路整備事業等を現在進めている。宇美町の骨格となる主要幹線道路であり、供用開始になれば広域幹線ネットワークが形成される。道路建設促進期成会等を通じて国や県に要望活動を行っている。

周知を図っている。来年の1月から危機管理課を新設、防災、防犯に特化し、町全体で危機管理に力を入れる。



小林 征男 議員

生産性や資源配分の向上のためRPAの活用を

答 導入を視野に入れ検討する

問 昨今、国や自治体は、積極的に働き方改革を推進するようになり、業務の効率化への流れが起きている。

そこで生産性や資源配分の向上のため、業務効率化が大きな指標になりつつあり、宇美町においても同様の状況と考える。

来年1月に、組織のスリム化とスケールメリットを生かした行政組織機構の再編を目的に機構改革が行われるが、業務の効率化の視点は、取り入れているか。

答 総務課長 第6次総合計画の後期実践計画を推進するために行政機構改革を行う。

大規模災害、子育て支援、社会情勢の変化を踏まえての再編。限られた人数の中で職員の負担軽減を考えいく。

も宇美町も人口が減少する。つまり、公務員の数も減る。国の財政子高齢化に伴い、労働力不足と地方公務員の採用も難しいと分析している。

住民ニーズが多様化する中、少子化と高齢化社会を支えるには、公務員が適材適所に配置をされなければならない。

答 庁舎内の業務の効率化の取組は。

答 課長 ソフト面では、平成30年に外部講師を招き、全職員を対象に、業務改善から始まる危機管理と題した研修を行い、業務改善行動につながる学ぶ場を提供した。

共通化と業務のノウハウも共有できている。

RPAを上手く活用すれば、外部委託や臨時職員の代替となり、委託費や人件費の削減に寄与する。これまでにRPAの活用について検討したことはあるか。

答 課長 本町の電算システム委託業者から、無償ライセンスのRPAの提供を受け、現在実証実験中。導入する場合は1,000万円の費用と年間補修に160万円が必要。費用対効果を踏まえ、宇美町が先駆者となるのは無理があると思う。

問 熊本県の宇城市では、RPAを活用し、実証実験をしてはどうか。



RPAのイメージ

RPAとはロボティック・プロセス・オートメーションの略で、ソフトウェアロボットによる24時間業務自動化システム。大量データの入力と文字・図形の判別も可能で、例えば、ふるさと納税業務メールを受信して自動で転記の上、税金を支払うことができる。

答 町長 本町の基幹系情報システムの契約が令和4年に満了を迎える。RPAの導入やアウトソーシングでの運用を入れて検討していく。

買い物難民、弱者への支援を

答 校区コミュニティ、自治会との協議を行い取り組んでいきたい



入江 政行 議員

問 日本は、2025年に全人口に対しても高齢者の割合が75歳以上18%、65歳～74歳まで含めると30%を超え、3人に1人が高齢者となり、宇美町も例外ではない。近年、日常の買い物が困難な状況に置かれている高齢者が増加。また、過疎地域のみならず都市部においても、飲料品の購買や飲食に不便または苦労を感じているのは高齢者だけに限らない。こうした人たちは、「買い物弱者」とも呼ばれ、経済産業省推計によると、その数は全国で約700万人と言われている。当町も高台に団地等の住宅が多数あり、店が遠い、足腰が痛くてバスに乗れない、運転免許証を返納した、ネットスーパーを使いこなすのは難しい等の声に対する対策は考えているか。

問 買い物支援を行っている自治体がたくさんあり、いろいろな方法を駆使して実施されている。
①共同宅配事業
②買い物や通院など移動支援に取り組む地域団体に車両を貸し出す事業

答 基本的には山間、僻地、離島、こういうところが買い物難民の定義。宇美町に関しては、そういう地域がない。

今後、当町のサービスについても介護保険事業の一つとして考えている。基本的には山間、僻地、離島、こういうところが買い物難民の定義。

答 福祉課長 6月1日現在、65歳以上の方が1万人を超えた。社会福祉協議会が行っている支えあい事業は、ゴミが出せない、電球を替えてほしいなどのニーズに対して行っているが、認知度は低い。

③町内を巡回する生活支援バスの運行
④シルバー人材センターが実施する高齢者の自宅を訪問し、安否確認とともに必要に応じて買い物代行

今後、当町も具体的に進めていくにあたり、校区コミュニティや自治会と協議をしながら取り組んでいきたないと考えている。

北九州市八幡西区の楠北自治区会の取組に、買い物支援バス運行事業がある。自治会は、地元企業から企業が使用しない時間帯にバスの無償貸与を受け、週1回大型スーパーへの買い物送迎を行っている。一切、市からの補助等は受けっていない。

⑤移動販売車による買い物支援
宇美町として住民の声を聞き、どの様な問題があるのかを検証し買い物難民、弱者の支援に取り組んでもらいたいが。

◆中学校卒業までの医療費無料化を
◆小中学校体育館に工アコン設置を
その他の質問

宇美町の高齢化率(26.7%)		
校区別	高齢化率	高齢化率の高い自治会
宇美東小	31.42%	とびたけ三、とびたけ一、山ノ内
桜原小	28.29%	福博中央、浦田、桜原
原田小	25.88%	仲山、鎌倉、原田下
井野小	25.06%	ひばりが丘二、ひばりが丘三、ひばりが丘一
宇美小	24.27%	四王寺、炭焼四、末広



時任 裕史 議員

問 ゲノム編集や遺伝子組換え農作物の作付を禁止するような条例は制定できないか。
答 課長 理論上は、法律等に抵触しない限

答 農林振興課長

町民の健康を守るために 町独自の規制を

答 情報収集して見極めたい

日本は、輸入に關して、非常に厳しい規制を設けていたが、近年、大資本を持つグローバル企業によつて、規制を緩和するよう圧力を受けている。そのような中で主要農作物種子法が廃止された。

今後、生物農薬が組み込まれたゲノム編集や遺伝子組換え農作物、ベトナム戦争でも使用された除草剤グリホサートなど、私たちの健康や豊かな土壤を脅かす懸念のある食品や製品が市場に出回ることを危惧している。

現状において、遺伝子組換えやゲノム編集された農作物の当町での生産状況は、

日本は、輸入に閑問して、非常に厳しい規制を設けていたが、近年、大資本を持つグローバル企業によつて、規制を緩和するよう圧力を受けている。そのような中で主要農作物種子法が廃止された。

り、町長には条例制定権があるため、可能であると思う。

問 ゲノム編集や遺伝子組換え農作物を攝取することは非常に危険であると思うが、当町の学校給食において、そういうた農作物が使
答 学校教育課長 遺伝子組換え食品や保存用されているのか。

問 宇美町の学校給食には遺伝子組換え農作物を一切使用していないと公言できれば、町の魅力となると思うが、答 課長 完全な除去は困難であるが、学校給食会と連携・協力し、先の遺伝子組換え表示

トは、国によつては全
面使用禁止になるなど、
世界の中では排除され
ようとしているが、日
本では使用している自
治体がかなりある。

制度の変更等、国の動向に注視しながら、より安全な給食の実施に努め、「一切使つていない」と公言できるよう取り組む。

町民の安心・安全を担保するために、健康被害の懸念があるものへの規制条例の制定及び調査・研究を町独自に進めてはどうか。町長 調査・研究は宇美町という小さな基礎自治体が担う任ではない。今後、国全体、世界的な動向も広く情報収集し、見極めていきたい。

答 建設都市計画課長
国が販売を許可して
いるものであるため、
問い合わせがあれば使
用していないと答える
が、こちらから発信す
ることはない。

発がん性「農薬」体内残留 28名の国會議員 毛髪検査 **19名から検出** の驚愕 !!

子どもの安全対策の強化を

答 職員も危機意識を持って防犯教育に取り組む



黒川 悟 議員



青パトによる見回り

さらに、青パトによる巡回パトロールついで、事案発生以来、緊急的に連日実施しており、今後も継続的に実施していく。

また、PTAや地域との連携等を具体化し、緊急事態及び日常的な取組について全職員で確認を行い、児童生徒の命を守るための対策強化を依頼した。

また、児童生徒への指導を行った。

機管理マニュアルを全職員で確認、不審者情報が多い場所の確認を行い、登下校の仕方や不審者に遭遇した場合の児童生徒への指導を行った。

川崎の殺傷事件に伴う、当町の対応は。

答 学校教育課長 危

各小学校区コミュニティ運営協議会や自治会において、通学路の見守りや夜間パトロール等を実施。

特に新1年生については、60%を超えている。見守りボランティア及び空白地帯の現状は。

答 まちづくり課長

川崎の殺傷事件に伴う、当町の対応は。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

37.9%、今年度5月末現在では、43%で、少しずつ利用者が増えている。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

問 一ICタグを活用した登下校管理システムの状況は。

町では、平成30年9月から小学校で、一斉導入を図っている。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

見守り箇所も数多く、全てを網羅する事は難しいのが実情。

見守り箇所も数多く、全てを網羅する事は難しいのが実情。

青パトでの広範囲の巡回で、空白地域にも、防犯の抑止力としての効果が期待できると考

青パトでの広範囲の巡回で、空白地域にも、防犯の抑止力としての効果が期待できると考

見守り箇所も数多く、全てを網羅する事は難しいのが実情。

見守り箇所も数多く、全てを網羅する事は難しいのが実情。

各小学校区コミュニティ運営協議会や自治会において、通学路の見守りや夜間パトロール等を実施。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

見守りボランティア及び空白地帯の現状は。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

ALSTとは
世界の英語圏から大学を卒業した青年を日本に招致し、日本人教師を補助する。

ALSTの充実を図るべきでは。任用を検討し、英語教育の充実を図るべく、各校1人のALSTの任用を検討し、英語教育の充実を図るべきでは。

国際化に向けた取組を。

まちづくりは人づくり、人は教育がつく

まちづくりは人づくり、人は教育がつく



丸山 康夫 議員

宇美町総合戦略の実施状況は

答 実施できるものから着実に進めている

問 平成28年3月に策定された宇美町総合戦略の目的は。

答 政策経営課長 町民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安定して営むことができる地域社会の形成。また、個性豊かで多様な人材の確保及び魅力ある多様な就業機会の創出。これらを一体的に推進するための戦略的な計画として策定した。

問 総合戦略の位置づけは。

答 課長 宇美町の最上位計画である総合計画の直下に位置し、特に人口減少の抑制や地方創生に向けた効果的な対策等を特化した計画。

問 総合戦略の計画の終了まで残り8か月とてこれほど心強いことはない。町としてどう取り組んだのか。

答 課長 平成28・29年度は取組を行つていなかった。

問 近隣市町との広域的連携をはかり、国の特別史跡大野城跡の魅力を発信する取組は。

答 課長 水城・大野城・基肄城築城1350年記念事業や、全国山城サミットなどをして魅力発信を行つてきた。

問 太宰府市との共有財産である大野城跡の日本遺産登録に向けた取組は。

答 社会教育課長 平成27・29年度に日本遺産登録申請を行つたが、認定されなかつた。



大野城跡を象徴する最大の石垣「百間石垣」

問 移住促進と空き家の再利用に効果がある「空き家バンク」制度を整備したが、成果と活用状況は。

答 課長 空き家バンクは、現在登録が16件となつており、その中で6件が成約した。

問 今後行政のトップとして総合戦略をどう推進していくのか。

答 町長 今後人口減少に転じることがないよう、緊急性や事業効果等を勘案し、優先順位をつけながら、まち・ひと・しごと創生本部を中心に、雇用の促進、子育て支援、防災、減災対策等の充実をはかり、活力あふれる宇美町づくりに努める。

問 日本遺産登録を目指に、古代山城サミットの宇美町での開催を検討しては。

答 課長 今後、宇美町の観光資源でもある古代山城の活用を検討していく。

問 太宰府市との共有財産である大野城跡の日本遺産登録に向けた取組は。

答 社会教育課長 平成27・29年度に日本遺産登録申請を行つたが、認定されなかつた。

宇美西口交差点の渋滞緩和と内野川の防災強化を

答 福岡県に強く要望する



平野 龍彦 議員

問 宇美西口は西鉄バス、タクシー、救急車など誰もが困っているが、所見は。

答 建設都市計画課長
朝夕混んでいる。一

問 宇美西口は西鉄バス、タクシー、救急車など誰もが困っているが、所見は。

答 建設都市計画課長
宇美西口交差点の渋滞については、昨年の3月と9月に、不退転の決意で、解消に取り組みたいと町長から回答をいただいた。平成から令和へと大きく時代は変わったが、宇美西口の渋滞は何も変わっていない。

答 町長 私もよく通るが、慢性的な渋滞が続いている、町内外の方々に不便をかけている。一日も早く改善をしなければという気持ちは変わらないが、この地点だけで事が解決する問題ではない。大動脈の志免宇美線の全面供用開始が最優先。その後にこの西口周辺を都市計画道路として整備をしていかねばならないと考えている。

問 宇美西口交差点の渋滞については、昨年の3月と9月に、不退転の決意で、解消に取り組みたいと町長から回答をいただいた。平成から令和へと大きく時代は変わったが、宇美西口の渋滞は何も変わっていない。

答 町長 私もよく通るが、慢性的な渋滞が続いている、町内外の方々に不便をかけている。一日も早く改善をしなければという気持ちは変わらないが、この地点だけで事が解決する問題ではない。大動脈の志免宇美線の全面供用開始が最優先。その後にこの西口周辺を都市計画道路として整備をしていかねばならないと考えている。

問 宇美西口渋滞の要因の一つである乙金病院前信号のサイクル調整はできないか。

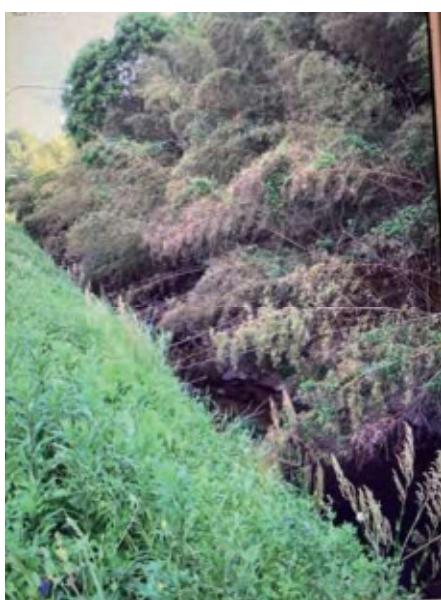
答 課長 現在は登録されてないが、今後は県と連携の上、申請を行いたい。

問 太宰府市は五条交差点、志免町は大的交差点、須恵町は須恵中央交差点、柏屋町は扇橋交差点、が福岡県の交通渋滞対策協議会の指定を受けている。宇美町においても西口の申請が受けないものか。

日も早い混雑解消に向けて動きたい。



青信号でも進まない宇美西口交差点



内野川をふさいでいる竹林と樹木

問 野川は洪水、氾濫となる危険性が高いが、町長の見解は。

答 町長 危険箇所が多くあると認識している。

問 野川は洪水、氾濫となる危険性が高いが、町長の見解は。

答 町長 車道側の青信号の間隔が非常に短いため、令和元年6月6日に県を通じて、県警に要望している。

問 通過交通量が多い炭焼一自治会公民館前の河川敷の陥没復旧を優先できなか?

答 課長 県は今年度内に一体的に発注するとと思う。

問 内野川地域の避難行動要支援者の名簿は策定しているか。

答 課長 県内では927名、宇美小学校では197名登録している。

問 通過交通量が多い炭焼一自治会公民館前の河川敷の陥没復旧を優先できなか?

答 課長 県は今年度内に一体的に発注するとと思う。

問 内野川地域の避難行動要支援者の名簿は策定しているか。

答 課長 県内では927名、宇美小学校では197名登録している。

問 河川氾濫となる危険性が高い内野川の河道内を塞いでいる竹林と樹木の撤去は。

答 建設都市計画課長 県に要望書を提出している。

問 河川氾濫となる危険性が高い内野川の河道内を塞いでいる竹林と樹木の撤去は。

答 建設都市計画課長 県に要望書を提出している。

問 総務省通達の市町村災害時受援計画はできているか。

答 課長 来年の梅雨どきまでに策定する。

問 総務省通達の市町村災害時受援計画はできているか。

答 課長 来年の梅雨どきまでに策定する。

総務建設常任委員会

委員長 小林 征男
副委員長 安川 繁典
委員員 員 白水 英至
委員員 員 藤木 龍彦
委員員 員 南里 正秀
委員員 員 入江 泰

計、改修工事及び都市公園の遊具の中から優先順位をつけ更新を計画。

○橋梁に関する防災・安全社

会資本整備交付金
交付内定率 21%

跨線橋1橋の補修設計及び新開橋の補修工事を実施し、残事業は次年度に延伸。

建設・都市計画課
平成31年度社会資本整備
総合交付金事業

災・安全社会資本整備交付金
交付内定率 93%

○交通安全部施設に関する防
災・安全社会資本整備交付金
交付内定率 93%

調査設計業務委託と改良工
事を計画どおり実施。

町道大谷→山の神線の水路
交付内定率 95%

○狭隘い道路整備等促進事業
交付内定率 95%

井野→吉原線の280m区
間の舗装補修工事を実施
し、残事業は次年度に延伸。

○公園施設に関する防災・安
全資本整備交付金
交付内定率 60%

※防災・安全社会資本整備交付
金
3割以下になつてゐる要因は。

問 橋梁補修事業、道路補
修事業の交付内定率が

一本松公園内のトイレの設

答

国の方針で、交付金事業は重点配分事業とそうでない事業とに分かれており、重点配分事業となつてゐるが、重点配分率となつてゐるが、重点配分事業でない事業は予算がつきにくい状況である。

総務課

自主防災組織設立準備
会議の経過報告

(平成31・3・31現在)

原田小学校区
5回開催、延べ100人参加。

桜原小学校区

4回開催、延べ70人参加。

宇美小学校区
2回開催、延べ37人参加。

宇美東小学校区、井野小学校
区は、代表者及び役員会で協
議を実施。

さんさん21事業

農林振興課



庁舎1階ロビーに展示された木製ベンチ

平成30年度字美町上水道
事業会計予算繰越

障子岳南三丁目外配水管布
設替工事(1)(2)(3)を下水道築造
取得。

○九州ホームズ株式会社
認定された企業等

住宅団地開発に係る町有地の
設置工事(1)(2)(3)を下水道築造

取得。

校に納品、じゃがいもは小学校5校と保育園に納品、カボチャは小学校5校に納品。タ

ンボボ保育園の園児24名が収穫体験を実施。

工事工期延長のため予算額9,900万円を翌年度へ繰り越すことの報告。

平成30年度字美町流域関連
下水道事業会計予算繰越

薬用作物試験栽培事業

ダメ湖畔で開催の福岡都市圏魅力PR物産展に「うみまちハーブ」を使った菓子等を販売。

木製品展示事業

福岡県の森林環境税事業を活用し、県産材を使用した木製品を展示する事業を実施。

下水道供用開始地区

本年5月1日に4.8haの下水道供用開始を実施。合計669.8ha、整備率79.8%、普及率87.8%、水洗化率93.5%となる。

財産活用課

宇美町企業立地及び住宅団地の開発促進条例に基づく奨励措置認定

厚生文教常任委員会

「独鉢杵」が
町指定文化財に決定

子育て支援課
保育所等の入所状況

世帯の保育料が全額無償化、
認可外保育園は3～5歳児
の全世帯は、月額最大3万7千
円、0～2歳児の住民税非課
帶についても、全額無償化。

平成27年に四王寺山の毘沙

門堂付近で参拝者が発見し、
宇美町に寄贈された「独鉢杵」

が町の歴史上重要なものと判
断し、宇美町文化財専門委員

会に調査資料を提出。

審議の結果、平成31年3月
14日に答申が提出され、町指

定員合計1,021人に対し、
定員合計1,021人に対し、

幼稚園は、3～5歳児の全
前年度より39人増加。待機児童は

も園は2園で合計15施設。

平成30年度より2年連続でゼロ。
町立保育園職員は、合計109

名。前年度より13名減。

現在は、歴史民俗資料館に
常設展示している。

世帯は、原則無償化。一部料
金が高額な利用者については、
月額最大2万5,700円を
補助。

平成31年度 子供の読書
活動優秀実践図書館
文部科学大臣表彰受賞

委員長	飛賀 貴夫
副委員長	黒川 悟
委員	脇田 義政
委員	吉原 秀信
委員	丸山 康夫
委員	南里 正秀
委員	裕史
委員長	吉原 秀信
副委員長	脇田 義政
委員	丸山 康夫
委員	南里 正秀
委員	裕史
委員長	吉原 秀信
副委員長	脇田 義政
委員	丸山 康夫
委員	南里 正秀
委員	裕史



おはなし会

ビブリオバトル大会



独鉢杵

答 **問** 宇美八幡宮の聖母宮や
の協議はされているのか。
答 町の文化財専門委員会
に諮問し手続きを進め
ている。

放課後児童クラブ
入所状況

令和元年5月1日現在、宇
美小学校内1クラブ増設した
ことにより、定員合計540
人に対し、入所児童456人。
入所率84.4%。前年度より27人
増加。待機児童ゼロ。

平成29年度から6年生まで
受け入れを拡大。

平成30年度ごみ処理量
実績

環境課

ごみ収集量合計は9,886.
52トン、前年度と比較して、
31.64トン、0.31%の減。

分別収集したごみは、中間
処理施設であるクリーンパー
クルセンター「エコル」に搬入。

クリーンパークわくすぎで
は、可燃ごみの処理を行い、
RDFごみ固形燃料化を図つ

幼稚教育・保育の無償化

認可保育園は3～5歳児の全
ての。

幼稚教育・保育の無償化が令
和元年10月1日より施行予定。
RDFごみ固形燃料化を図つ

議員有志で町内企業訪問

5月10日に宇美町議会の有志で、町内企業訪問を行いました。

宇美町には優良企業が多くありますが、今回は早見工業団地にある昭和鉄工(株)と、宇美東小学校横にある倉敷レーザー(株)九州事業所の2社を訪問しました。

両企業ともに世界に誇る大変優れた技術をお持ちで、業績も右肩上がりです。

宇美町の経済を支えるとともに、地元から多くの人材を採用しておられます。今後さらに地元からの採用を増やしていきたいと、力強いお言葉もいただきました。



明治天皇お召し列車に国産品初のラジエーターを納品された昭和鉄工(株)は、現在のラジエーター国内シェアは30%を誇っています。

また、リタンエアデシカント外気処理機 ラデックが平成30年度省エネ大賞の最優秀賞にあたる経済産業大臣表彰を受賞されています。



レーザー加工と精密板金加工で時代をリードする企業
倉敷レーザー(株)九州事業所

子育て支援現場を視察訪問

厚生文教常任委員会

宇美町は保育所待機児童ゼロ!
さらに学童保育も待機ゼロ!

6月24日に宇美町議会厚生文教常任委員会で、子育て支援の現場を視察研修しました。

議会広報の2月号でも特集した宇美こども子育てネット・う~みんが運営する子育て支援センター「ゆうゆう」をはじめ、ファミリー・サポート・センター、子育て世代包括支援センター、放課後児童クラブ等を視察しました。

また、宇美町は保育所の待機児童ゼロ、放課後児童クラブも待機ゼロを実現できています。

子育て支援にしっかりと取り組み、町外にも広く宣伝して、子育て世代の流入に繋げていくことが大切です。



「ゆうゆう」はうみハピネスに移転後、施設の利用者も増え子育てママにとっても憩いの場になっています。



井野小学校の放課後児童クラブは、空き教室を整備改修して設置されています。今後は各小学校では空き教室が増えることが予想されており、モデルクラブとなっています。

埼玉県戸田市議会が議会広報視察に来町 視察受け入れで刺激

5月20日に埼玉県戸田市の議会広報特別委員会が視察研修に来町されました。

戸田市は、埼玉県の南東部に位置し、荒川を挟んで東京都と隣接する人口14万人を誇る発展著しい都市です。

昨年の全国町村議会広報コンクールで奨励賞を受賞したことを見たきっかけに、年内だけで6件の視察研修の申し込みが来ています。

私たち宇美町議会広報常任委員会も、視察を受け入れることで、大きな刺激を受けるとともに、自分たちの活動を見直す機会にもなり、更なる情報発信の充実に努めていこうと、気持ちを新たにした視察受け入れとなりました。





議会広報から

インタビュー

シリーズ第6弾

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

**地域活動を支えて28年婦人会長
宇美町連合婦人会長 吉留節子さん**



吉留さんが婦人会活動に参加するようになったきっかけは、地元早見地区のお祭り「お十七夜」で披露する日本舞踊に取り組まれたことで、今でも毎年出演されています。

子どもたちからお年寄りまで楽しめる地域のお祭りに参加することで、「地域の皆さんと顔見知りになれる。また、子どもたちの成長も確認できるところがいいです。」と、宇美町連合婦人会が、頑張って支部活動を存続させている意義を語られました。

婦人会長を長く続けてこられた原動力は、「昔遊びの伝承活動」や「ふみの里まなびの森フェスタでの石けんづくり」等、たくさんの子どもたちと触れ合い、エネルギーをもらっているからだそうです。

糟屋地区の中でも婦人会が存続しているのは宇美町だけとなり寂しいですが、福岡県地域婦人会連絡協議会で、「博多どんたくパレードへの参加」や「九州北部豪雨災害の被災地支援活動」に取り組まれるなど、多くの仲間と共に地域を支えておられます。

吉留節子さんは、宇美町連合婦人会の会長を平成4年から現在も続けておられます。

婦人会は、女性がいきいきと活躍できるまち“うみ”をめざし、54人の会員のみなさんと、廃油を使った石けんづくりなどの環境活動、子どもたちを交通事故から守る交通安全活動、昔遊びをとおした学習支援活動をはじめ様々な地域活動に取り組まれています。

新しい会員も増やしていこうと、フラワーアレンジメントにも取り組み、作品を町民文化のつどいに出展されるなど、活動の幅を広げています。



町民文化のつどい



花いっぱいの総会会場



婦人会では小学校や保育園の給食で使うてんぷら油の廃油を集めて、環境にやさしい石けんづくりに取り組まれています。

毎年ふみの里まなびの森フェスタで、子どもたちと一緒に石けんづくりに取り組まれています。子どもたちからは、「天ぷらあぶらから石けんができるなんて知らなかつた。お家に持って帰つて使ってみます。」との声も聞こえてきました。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

6月議会では、15名の方が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。
役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次の定例議会は、9月4日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) まで
お問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長	古賀ひろ子
委員長	丸山康龍
副委員長	平野政繁
委員	入江繁正
委員	南里裕
委員	時任秀史
委員	江川彦行
委員	川田典彦
委員	里田正
委員	任裕

Gikaiboutyou Meter 議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

